

第2次神崎市総合計画策定に向けた

市民ワークショップニュース

2号

神崎市の戦略案と将来像案を話し合いました!

プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 作業1 (神崎市のこれからの取組みを考えよう)
4. 作業2 (神崎市の将来像を考えよう)
5. 各グループの発表
6. まとめ
7. 閉会



ワークショップの構成

第1回

平成 29 年 9 月 30 日 (土)
平成 29 年 10 月 1 日 (日)
テーマ
「神崎市の通信簿」

第2回

平成 29 年 10 月 14 日 (土)
テーマ
「神崎市の戦略」

第3回

平成 29 年 10 月 29 日 (日)
テーマ
「神崎市の重点事業」

第2回目となった今回は、「神崎市の戦略」と題し、第1回目で作成した「神崎市の通信簿」を振り返りつつ、神崎市が今後 10 年で行うべき取組みについて意見交換を行いました。

20 代の若い方から子育て中世代の方、数十年間を神崎市で過ごしてきた 70 代の方まで、様々な世代・背景を持つ方と同じテーブルを囲むことで、1つの取組みに対して色々なニーズを結び付けて考えられたと思います。

その後、神崎市の将来像をキャッチフレーズとして班ごとに考えていきました。1つ1つの取組みと全体的なイメージ(将来像)をすり合わせていくことで、「神崎市をこんなまちにしたい!」という皆さんの思いが、より具体的になっていったと思います。

次回は市民ワークショップ最終回。これまでの積み重ねをもとに、神崎市が特に力を入れていくべき重点事業について話し合いを行っていきます。

戦略まとめ「神崎市がより良いまちになるために」～優先的に取り組むべきことを抜粋～

班	目的	内容
1 班	住みよいまちづくり	●食料品や日用品販売をしてくれる巡回販売車
	幸せまちづくり “神ってる”	●行政⇄市民 GAP あるものを生かす ●市民が市のことをもっと知る機会を増やす ●歴史・文化の伝承（子どもなどへ伝える） ●観光ルートづくり
	賑わいまちづくり	●中心市街地拠点、市民協働利活用（まちなか賑わいづくり） ●駅周辺の活性化 ●産業育成（地産品の活用、いのしし、竹） ●学園都市づくり（西九大、清明、留学生） ●人が集まって語り合ったり、仲良くなれる居場所づくり
2 班	まちづくり	●自然を生かした町づくり
	健康にやさしい	●プール・運動施設
	つながる魅力的	●情報発信 ●地域からの情報発信の仕組みづくり（SNS など） ●男女共同参画の意味で婦人会に変わる地域の女子会の必要性
	古いものをいかした	●空き家対策 ●古民家再利用
3 班	活気あるまちにするために	●神崎市農産物等のブランド化 ●神埼ブランド品の提供の場の設置 ●神崎市の情報発信力強化 ●企業誘致強化 ●全てに規模縮小の時代に入るので、コンパクトな街づくりを目指す（ここに参加することで人も金も廻ると信じる） ●働く場の創設 ●観光資源の整備・連携 ●定住への取り組み
	これからの人づくりのために	●市民の意識改革
4 班	人が活性化するまち	●地域協働（助け合い）子ども預かり ●住民のコミュニティづくり ●自治公民館活動の充実
	イキイキ居場所づくりをするまち	●憩いの場所がほしい ●児童～高齢者へ公園を利用して交流づくり ●子ども～大人までが身体を動かせるような運動施設（公園） ●高齢者が多くなるのでシニアの健康居場所作り
	情報発信と文化向上	●情報発信の場として図書館の充実（赤ちゃんから高齢者まで来れる） ●町の情報が市民全体で共有できるように ●文化面の充実（図書館）

将来像案一覧「私たちの目指す神崎市」

1 班	みんなで幸せまちづくり かんざき
2 班	神やどる自然と歴史 人と人がつながる やさしいまち神埼
3 班	住んでみたい幸せあふれるまち 人と人とがつながるまち神埼
4 班	イキイキワクワク みんなで創る みんなが主役のまち —愛があふれだす神埼—